

ここ10年の泉地区31集落人口統計

集落名	人口数		H23→R3	R3.3	集落名	人口数		H23→R3	R3.3
	H23.3	R3.3	増減率	高齢化率		H23.3	R3.3	増減率	高齢化率
上川代	23	19	-17%	47.4%	小増川	109	79	-28%	40.5%
中川代	124	97	-22%	42.3%	鎌田	49	37	-24%	37.8%
下川代	175	139	-21%	38.1%	山荒川	269	239	-11%	29.3%
玉川	198	159	-20%	37.7%	東荒川	122	99	-19%	43.4%
大口	94	94	0%	28.7%	西荒川	283	272	-4%	32.7%
市野山	120	106	-12%	41.5%	野田	42	29	-31%	44.8%
増川新田	113	93	-18%	38.7%	白山	34	21	-38%	38.1%
野荒町	268	237	-12%	42.2%	仙道	200	158	-21%	41.1%
十文字	247	196	-21%	41.3%	川代山	225	214	-5%	36.9%
戸野	134	105	-22%	40.0%	泉野	95	74	-22%	40.5%
坂ノ下	29	23	-21%	43.5%	八森	57	36	-37%	58.3%
中里	84	63	-25%	39.7%	清水	40	32	-20%	31.3%
町屋	198	156	-21%	40.4%	美野和	16	12	-25%	66.7%
染興屋	57	49	-14%	36.7%	海谷森	19	20	5%	15.0%
川行	85	61	-28%	41.0%	美星野	74	111	50%	11.7%
金森目	98	83	-15%	39.8%	泉合計	3,681	3,113	-15%	37.4%

保存版



泉地区地域ビジョン

泉地区地域ビジョン策定委員会 令和4年3月発行



地域ビジョン実現のために

- 地域ビジョン実現のために必要なものは、皆さんお一人お一人の思いやアイデア、そして力です。
- 分野毎に事業計画を立て、地区の皆さんや各種団体・行政と連携しながら実行していきたいと思えます。
- 泉地区には、たくさんの宝があります。少し難しいかと思われる目標も、皆さんの協力できっと達成出来るに違いありません。10年後の明るい未来を目指して、共に頑張りましょう！！

一緒にまちづくりをしてくれる仲間を募集しています！
あなたのやってみたいを実現してみませんか？
こちらから声をお掛けすることもあります。その際はイヤがらずにご協力お願いします♪

- 【泉地区地域ビジョン 策定委員会メンバー】
- 委員長：丸山壽身 ○副委員長：菊池健一
 - 委員：草島 学・半澤久之・五十嵐孝・齋藤美緒・増坂加代・小林暢宏・榎本トヨ・渡部文子
本間とし子・齋藤広海・梅津愛子・佐藤 進・加藤あさ野・五十嵐淳・齋藤 愛
 - 市役所アドバイザー：成澤 紀美・齋藤 真一・山口 幸
 - 事務局：丸山三喜男・齋藤和彦・丸山 誠・太谷弘子・佐藤沙也加



ご連絡・お問合せ

鶴岡市泉地区自治振興会
TEL・FAX:0235-62-4303
E-mail:izumikou@atlas.plala.or.jp

○ビジョンの目的
泉地区は、鶴岡市羽黒地域の中央に位置し、市役所や学校などが集まっていますが、若年層を中心に人口が流出するなどにより、高齢化・少子化が進行し、地区の活力が低下しており、集落・自治会及び各種団体が結束して泉地区の維持・活性化に取り組むことが求められています。こうした状況において、地区の現状や課題を踏まえ、1人ひとりがそれぞれの立場から協力し泉地区の活性化に取り組むことが一段と重要になっています。このため、「泉地区に住んでよかった」「これからも住み続けたい」と思える地区としていけるように地域ビジョン策定に取り組みました。

○計画の位置づけ
「泉地区地域ビジョン」は、自分たちのまちは自分たちで作る『住民主体のまちづくり』を基本として、住民・関係団体・行政等との協働により、泉地区が目指すべき姿を実現するための指針とするものです。

○計画の期間
5年毎に修正・見直しをしながら、10年後なりたい泉地区の将来像に向けて取り組んでいきます。

泉地区まちづくりアンケートに込められた思いを、地域ビジョン保存版としてお届けします。アンケートには泉の宝がいっぱいありました。皆さんの夢と希望と思いを共有し、これからもずっと住み続けたい泉地区を目指して、一緒に手を携えていきたいと思えます。

泉地区地域ビジョン策定委員長 丸山壽身

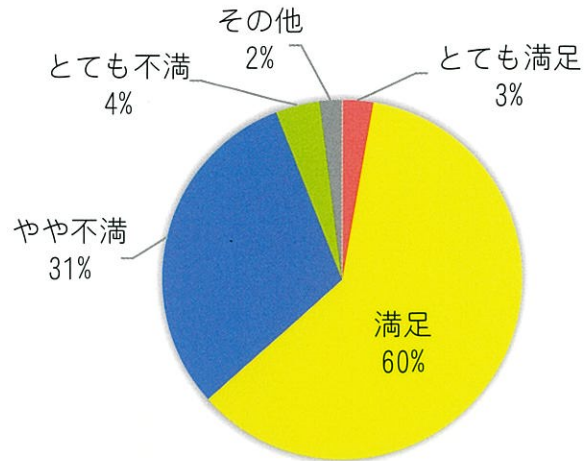


地域ビジョン策定に向けた泉地区まちづくりアンケート

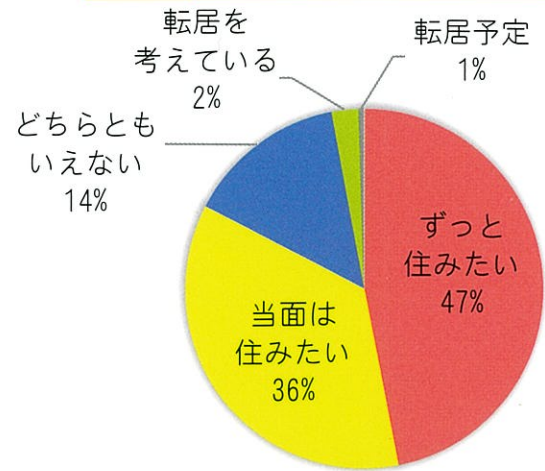
抜粋

- 実施期間 令和2年7月29日～8月28日
- 実施対象者 泉地区にお住まいの全世帯(一部自治会未加入世帯を含む) 900世帯
- 回答者数 416世帯(回答率46.2%)

Q 暮らしの満足度



Q 今後も住みたいと思うか



ここ10年の泉地区人口統計

平成23年3月

3,681人

DOWN

568人減

令和3年3月

3,113人

568人減



高齢化率 37.4%

たった10年でこんなに人口が減少。この先どうなるの!?

→地区の皆さん一人ひとりが何をすればいいか考えていきましょう!

まちづくり キーワード

～交流できる場所と機会づくり～

基本目標

1. 組織や世代の枠を超え、互いに協力し合うまち

現状と課題

- ・老後の際の健康や外出時の交通手段、人とのつながりに不安を感じている
- ・高齢者世帯の除雪問題が浮彫
- ・核家族や老夫婦の単身世帯が増え、隣近所の助け合い(つながり)が希薄化してきている
- ・集落会員の減少により、集落行事の廃止や近所付き合いが減り自然と顔を合わせる機会が減ってきている
- ・若い世代が地区外へ出る事で子供の数も減少
- ・子供が自由に遊べない環境になった(相手宅の了承、相手宅の連絡先を知らない等)
- ・人口減少の影響により、特に小規模集落は伝統・文化の継承が出来なくなっている

方向性

- 高齢者・障がい者の暮らしを支える支援の充実
- コミュニティの場の創出
- 集落及び近隣集落との交流促進
- 子育てを地域みんなで支える
- 人材の確保・育成
- 初期空き家の有効活用
- 地元の魅力発見
- 地元商店利用の工夫

組織体制

- ◎主担当：地域部
- 連携・協力団体(案) 老人クラブ 社会福祉協議会 包括支援センター
- ◎主担当：総務部
- 連携・協力団体(案) 区長会・婦人会
- ◎主担当：生涯学習部
- 連携・協力団体(案) 学校PTA 民生児童委員 生涯学習推進員
- ◎主担当：防災安全部
- 連携・協力団体(案) 区長会・婦人会 交通安全協会 防犯協会 企業(商店)

みんなで取組むこと

- 高齢者や障がい者を支えていける地域を目指しみんなで見守り・声掛けを行う
- 老若男女、障がい者、健康者誰もが参加出来るようなイベントやスポーツ(レクリエーション)などを開催し、交流を図る
- 好きな時間で好きなものを通して、楽しみながら交流できる場の提供
- 世代ごとに意見を聞き取り、その意見を広報等に掲載し、全世代の考えを共有させ、課題解決を図る
- 学校、家庭、地域が一体となって、子供や親子が楽しみながら新しいことに挑戦できる機会づくりや登下校を含めた見守りの体制づくり
- 地域と連携して、子育て家庭が孤立する事がない様、保育園に入園前の子育て家庭同士の交流する場を提供など地域全体で子育てを支援する
- 中高生による未来づくり・その親世代の意見交換を同時開催(別室で)
- 防犯の対策も兼ねて、地域と協力しながら空き家の情報収集を行い、管理者と借りたい買いたい人をつなぐ
- 老若男女、他集落の意外な場所や風景を見つける事で、地元の魅力発見につなげる、また、ウォーキングを取り入れる事で健康づくりにも役立つ
- 自分しか知らない泉地区を知らせたり、自分の知らない泉地区を発見する喜びを味わう
- 地元に住んでいる人だけでなく、泉地区へ越してきた人が地元でどのようなお店があるのかが分かりやすいように見て楽しいマップを作成する

アイデアの一例

- 心の通った一声運動
- にこにこ★わくわくゆるイベント
- いずみのちゃのみ
- 困りごと持ち寄り会
- 交流のネットワークづくり
- 子育て交流のあそび場提供
- いずみの未来を考え隊
- 空き家マッチング
- 集落スタンプラリー
- いずみフォトコンテスト
- いずみプロマップづくり

3. 元気な営みが継続できるまち



- ・空き家の増加
- ・地元愛が減少気味
- ・ネット通販の流通や大手スーパー利用者が増え、地元商店利用者が減少しているため、商店の活気が乏しい